

# アセックの埋立の進捗状況

公益財団法人 愛知臨海環境整備センター

ASEC(アセック) AICHI SEASIDE ENVIRONMENT CENTER

2024年11月20日(水) 14:00 ~

# アセック事業の概要

事業	衣浦港3号地廃棄物最終処分場(K3)
所在地	武豊町三号地
規模	面積 約47.2ha 容積 496万m <sup>3</sup>

区画	残存容量/ 全体容量	残余率 (2024年3月末)
安定型 (2010.7~)	65,542m <sup>3</sup> / 729,759m <sup>3</sup>	9%
管理型 (2011.3~)	1,412,241m <sup>3</sup> / 4,228,866m <sup>3</sup>	33%

(埋立免許 2033年4月まで)

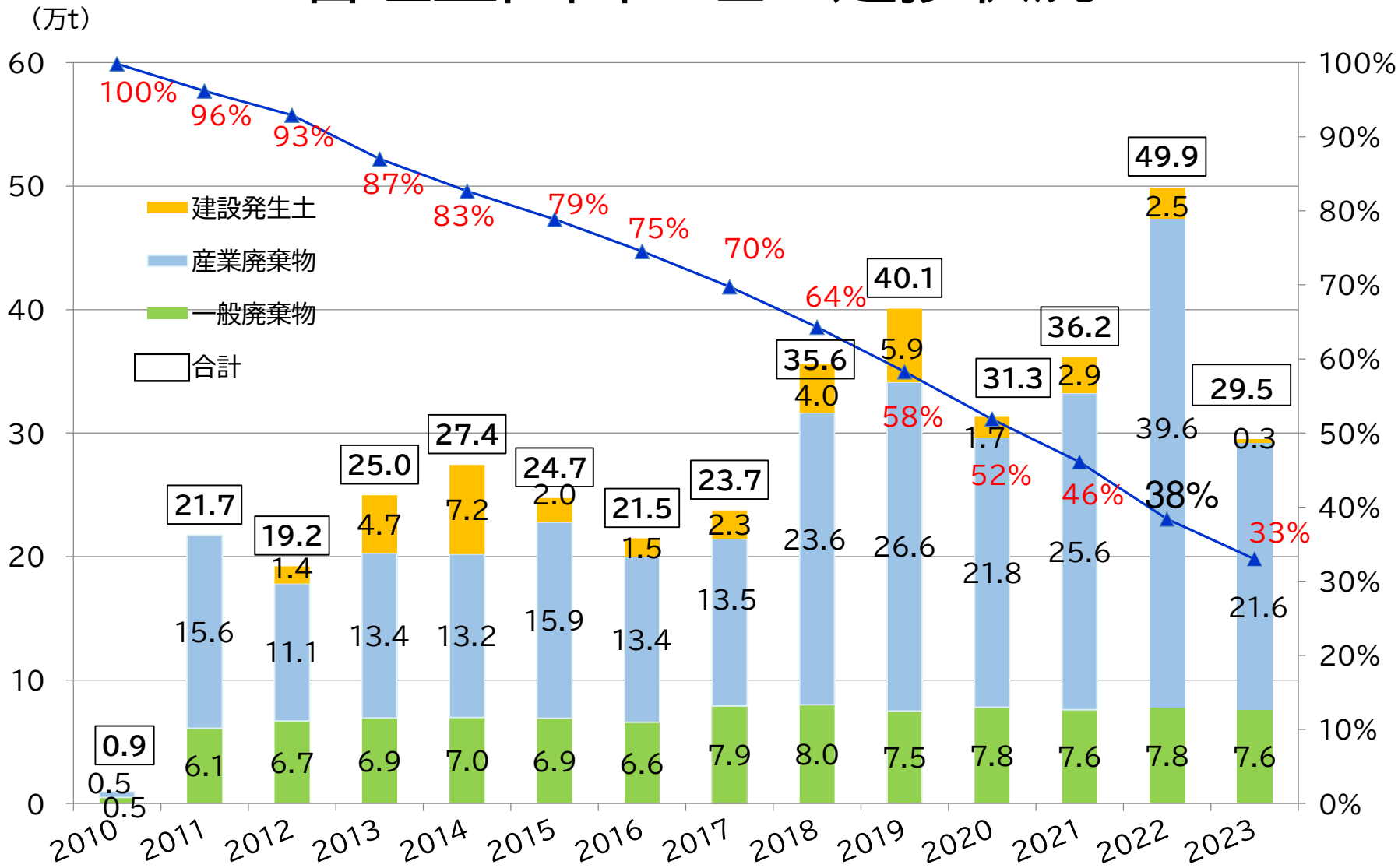


安定型区画

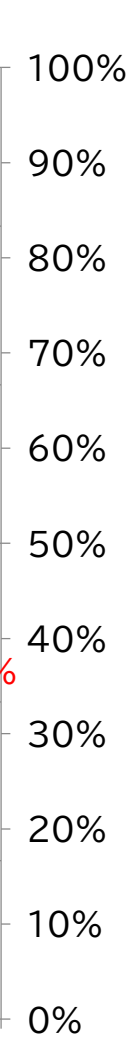
管理型区画

2024年2月撮影

# 管理型区画の埋立進捗状況



累積搬入量・割合(2023年度末)



平均搬入量  
(2018~2022年度)  
39万t/年

残余容量  
(2023年度末)  
141万m<sup>3</sup>  
(約188万t)

# 搬入抑制策(キャップ制度)について

## 【2022、2023年度】

- 埋立期限が2023年4月から10年間延長。県からアセックに対して、埋立期限まで長期的・安定的に受入を実施するよう依頼。(2022.10及び2023.3)
- 管理型区画への受入量の急増に伴い、残存容量が急激に低下。現状の搬入ペースが継続した場合、5年程度(2027年頃)で埋立終了の見込



## 【2024年度～】

- 搬入事業者に対して、搬入上限目標値(キャップ)を設定し、搬入抑制を要請(2024年4月開始)
  - ・ 一般廃棄物1000t以上:2022年度実績から16%削減。1000t未満:2022年度の実績。
  - ・ 産業廃棄物1000t以上:平均搬入量(2018-2021年度)から35%削減。1000t未満:平均搬入量。
- 年間搬入上限は、2023年度末の残余量÷9年≒20万トン

# 今年度のキャップの運用状況

	令和6年度 (4月~10月)	キャップ
一般廃棄物	3.7万t (58.3%)	6.3万t (100%)
産業廃棄物	5.7万t (41.2%)	13.7万t (100%)
合計	9.3万t (46.7%)	20.0万t (100%)

表上段:搬入量  
表下段:キャップ対する  
搬入率

# キャップ制度の運用について(2024年度)

- 4月8日に搬入事業者様に今年度のキャップを通知。
- 2024年度に限りキャップ超過を可とする  
(超過分には、割増単価を適用)。  
この場合、超過分は、次年度以降のキャップから差し引く。

# キャップ制度の運用について(2025年度以降)

○キャップを超過した時点で当該年度の受入れを終了  
(割増単価適用なし)

○廃棄物の受入上限量に関する覚書(10月28日に案を送付済)を、2025年3月末までに締結する。

○キャップ超過が無かった事業場は、2025年度以降のキャップも2024年度と同程度になる見込み。

○2025年4月初めに搬入事業者様にキャップを通知。